哺乳類　＜翼手目（コウモリ目）　ヒナコウモリ科＞　　愛知県：絶滅危惧ⅠB類（国：リスト外）
MAMMALIA　＜CHIROPTERA　VESPERTILIONIDAE＞　　AICHI：EN　　(JAPAN：－)

テングコウモリ　*Murina hilgendorfi* (Peters)

【選定理由】

本種はアジア東部に生息するコウモリで、国内での分布は比較的広いが、県内では東三河山間部の 3 市町で記録されているにすぎない。洞穴内でみつかるが樹冠や樹洞もねぐらにする半森林性コウモリである。県内では生物多様性の高い森林が消滅や減少によって局地的に存在するにすぎず、本種の生息を保証する良好な環境の不足が本種の個体群に絶滅の危惧をもたらすと考えられる。

【形　態】

体重 9～15g、頭胴長 57.9～73.0mm、前腕長 41～46mm、尾長 36～47mm、脛骨長 16.9～19.9mm、後足長（爪を含む）11.4～13.6mm、耳介長 16.8～18.4mm、耳珠長 7.0～8.5mm、頭骨最大長 18.8～20.9mm。大型のコウモリで、背面の毛色は灰褐色。銀色の刺し毛が霜降り状に体毛に混ざる。耳介は卵形で耳珠が細長い。腿間膜の上面は全体が長毛で被われている。歯式は I2/3,C1/1,P2/2,M3/3=34、脊柱式は C7+T10+L5+S5+Cd8～9=35～36（子安･織田, 2009 など）。

【分布の概要】

【県内の分布】

2009 年までに、設楽町（橋本 肇氏）、東栄町（寺西,2002）、新城市（松井ほか,1995）で確認されていた（子安･織田, 2009）。その後、犬山市、瀬戸市、豊根村、東栄町、新城市で確認され（以上は寺西, 2016）、豊田市百月町でも確認された（子安ほか, 2016；子安, 2018）。

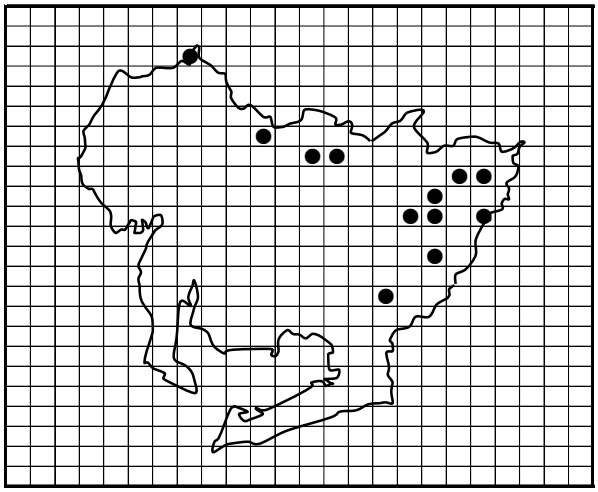
【国内の分布】

国後島、北海道、本州、四国、九州。

【世界の分布】

日本、サハリン、シベリア沿海地方、朝鮮半島、中国。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

夏期は主に樹冠をねぐらとし、冬期には定まった樹洞や洞穴で単独ないし数頭で見つかることが多い。日没後ねぐらから出て採餌し、夜明け前に戻る。飛翔性昆虫を森林の下層部で捕食するが、地上での採餌も示唆されている（向山, 2000）。出産は 7 月で、1～3 頭の仔を産むと考えられている（Kawai, 2015）。天竜川水系のトンネルでは出産・哺育集団が確認され、この集団では、5 月から 7 月まで継続して群塊を形成し、7 月には 14 頭中 6 頭の幼獣を含む哺育集団であった（佐藤･勝田, 2007）。

【現在の生息状況／減少の要因】

県内には生物多様性の高い森林が限局的にしか存在せず、ねぐらとなる樹洞のある巨木もきわめて稀である。森林の伐採や単一樹種の植林が本種の採餌場所の環境悪化をもたらし個体群の維持を困難にさせている。また、洞穴の封鎖や洞穴内の環境悪化も個体数の減少要因となっている。

【保全上の留意点】

生物多様性の高い森林の保全に努めるとともに、生物多様性を高めるような植林やバットハウス（コウモリ用巣箱）・人工樹洞の設置などを推進する必要がある。また、生物相調査の際には森林性コウモリの生息可能性を常に考慮し、コウモリ類の生息状況を正確に把握するようにつとめなければならない。さらに、天然洞穴や人工洞穴に入洞規制のための柵を設置する場合にはコウモリの出入りを妨げないような設備が必要である。

【特記事項】

設楽町、東栄町、豊根村、新城市での生息は、橋本肇氏によって確認されたものである（寺西, 2016）。

【引用文献】

Kawai, K. 2015. *Murina hilgendorfi* (Peters, 1880). The Wild Mammals of Japan, 2nd ed., pp.117-119. Shoukadoh Book Sellers, Kyoto.

子安和弘, 2018. 人家から奥山まで生息する哺乳類. 新修豊田市史 別編自然, pp.586-603. 愛知県豊田市, 豊田.

子安和弘･織田銑一, 2009. テングコウモリ. ﾚｯﾄﾞﾃﾞｰﾀﾌﾞｯｸあいち 2009 動物編, p.76. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.

子安和弘･岡田慶範･小鹿登美･吉村文孝, 2016. 哺乳類. 豊田市生物調査報告書<分冊その 3>, pp.337-367.豊田市, 豊田.

松井 保ほか, 1995. 哺乳類. 鳳来町誌歴史編, pp.32-35. 鳳来町, 愛知県南設楽郡鳳来町.

向山 満, 2000. ニホンテングコウモリ. 青森県の希少な野生生物, p.112. 青森県環境生活部自然保護課, 青森.

佐藤顕義･勝田節子, 2007. 天竜川水系で確認したﾃﾝｸﾞｺｳﾓﾘ *Murina leucogaster* の繁殖と周年動態, ｺｳﾓﾘ通信, 15, 1, 2-5.

寺西敏夫, 2002. 愛知県のコウモリ:アブラコウモリを除く(1998～2002,1). マンモ･ス特別号, (4): 3-13.

寺西敏夫, 2016. 愛知県におけるコウモリ相と生息実態. NPO 法人東洋蝙蝠研究所 2016 年度研究会抄録（自刊）.

（子安和弘・織田銑一）